

特集2 つながるひろがる新美南吉のまちづくり

本年7月30日、安城にゆかりのある童話作家、新美南吉の生誕百年を迎えました。

南吉は、昭和13年に安城高等女学校に教師として赴任し、安城で充実した日々を送りながら、多くの作品を残しました。

本市では、「南吉が青春を過ごしたまち安城」をキャッチフレーズに、南吉のまちづくりを進めています。これまでの南吉のまちづくりを紹介します。

南吉にふれる

当時の日記や手紙から南吉と安城のつながりを実感。南吉が残した温かい作品とともに南吉の世界に触れ、豊かな心を育てます。



①南吉童話で陶板を作成
志貴小学校では、児童が南吉作品をモチーフにした陶板を作成しています。ほかに市内の学校では、各校独自の南吉にちなんだ授業をしています。

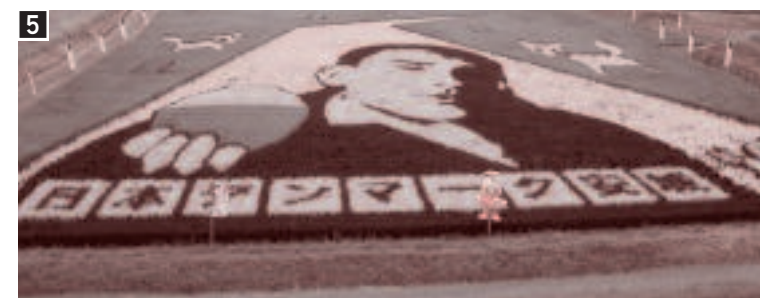
②ブックスタート事業
4カ月児健診受診者を対象に、絵本の読み聞かせを実演し、南吉絵本大賞作品「二ひきのかえる」と赤ちゃん用絵本を進呈。親子の絆づくりを支援しています。

③特別展「南吉が安城にいた頃」
歴史博物館では、南吉と安城の関わりを取り上げ、自筆原稿や手紙、昭和15年当時のまちの模型などを展示。開催期間中に1万711人が来場しました。

④南吉絵本をつくらう
市民が企画した講座で、自分だけの南吉絵本を作りました。市民が企画・運営した催しは、このほかにも数多くありました。

⑤南吉童話にちなんだクッキー
キッネやでんでんむし、カエルの形をしたクッキーが給食に登場。どれも南吉作品に登場する動物で、子どもたちは、食を通じて南吉に親しみました。





南吉で
つながる

南吉をきっかけに、人やまちがつながって、大きな輪が広がりました。まちには笑顔があふれました。

①南吉音頭
東栄幼稚園の教員と保護者が作り、子どもたちに親しまれました。音楽が始まると皆大喜びで、地域の盆踊りでは、お年寄りと子どもたちが仲良く踊る姿も見られました。

②新美南吉絵本大賞
南吉童話を絵本にした作品を募集し、全国から1412点の応募がありました。大賞作品「ひきのかえる」は、ブックスタート事業で活用しています。

③ハッピーキッチン
安城高等学校のボランティアグループの生徒たちが企業と協働し、花のき村弁当や南吉かす

④南吉体操でお年寄りと交流
ゆたか保育園の園児と地域のお年寄りが、南吉体操と一緒に踊りました。子どもたちの笑顔に、おばあちゃんもにっこり。

⑤ふれあい田んぼアート
さまざまな色の稲を植えて、田んぼに絵を描きました。今年は南吉の顔が登場しました。

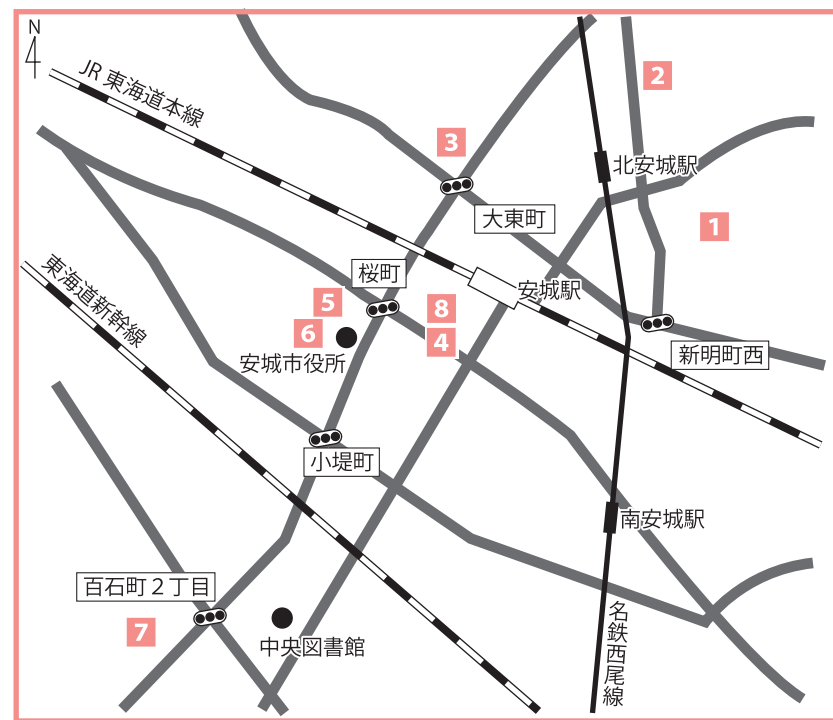
⑥南吉の生誕地「半田市」と交流
南吉ゆかりの地を巡る南吉探訪スタンプラリーを開催。スタンプポイントは、本市だけでなく、半田市内の南吉の生家や新美南吉記念館にも設置。南吉ゆかりのまちが広がりました。

⑦⑧⑨新美南吉生誕百年祭
7月27日、30日の4日間、南吉体操コンテストやキャンドルなどで、南吉の生誕百年を祝い、会場には笑顔があふれました。

⑩⑪新美南吉没後70年記念式典
安城高等学校の生徒たちによる詩の朗読などで、南吉の没後70年を偲びました。式典後は南吉の教え子が集まり、当時の思い出話に花を咲かせました。



商店街の店舗に描かれた南吉ウォールペイント



かつて南吉が歩いた安城のまち。
 今も残る南吉ゆかりの場所や新たに登場した南吉ウォールペイントなどをめぐることで、南吉を身近に感じることができます。



- ①南吉の下宿先(新田町):最寄りの駐車場(新田ふれあい広場)から下宿先までキツネの足跡が案内します
- ②百姓家詩碑(新田小学校内)
- ③貝殻詩碑(中部小学校内)
- ④南吉回想の窓(御幸本町)
- ⑤ででむし詩碑、安城高等女学校址碑(桜町小学校内)
- ⑥牛詩碑(安城公園内)
- ⑦新美南吉生誕百年記念碑(安城高等学校内)



⑧南吉ウォールペイント(日本通運安城倉庫):南吉や南吉作品をモチーフとした壁画が、JR安城駅前商店街周辺の店舗など25カ所にあります

まちの未来創造フォーラム

新美南吉のまちづくりを定着・発展・広域発信するための施策を、テーマ性を持ったまちづくりを展開している自治体とともに考えます。

●とき 来年2月21日(金)午後1時30分～4時30分

●ところ 文化センター

●基調講演 講師→殿村美樹氏(P Rプロデューサー) 演題→明日から実践!「ズラして一発逆転」

●パネルディスカッション 北海道東川町(写真のまち)、鳥取県境港市(妖怪のまち)、岩手県花巻市(宮沢賢治のまち)など

殿村美樹氏

「明日はみんなをまつてゐる」

これは、南吉の詩「明日」に出てくる言葉です。ここには、明るい未来の始まり、未来への希望が込められています。

かつて南吉が安城に残した思いは、今の私たちの心に受け継がれています。明るい明日が安城に広がるよう、これからも新美南吉のまちづくりを進めていきます。

さあ、みんなで
 まちの未来の扉を開けよう
 明日が私たちを待っています